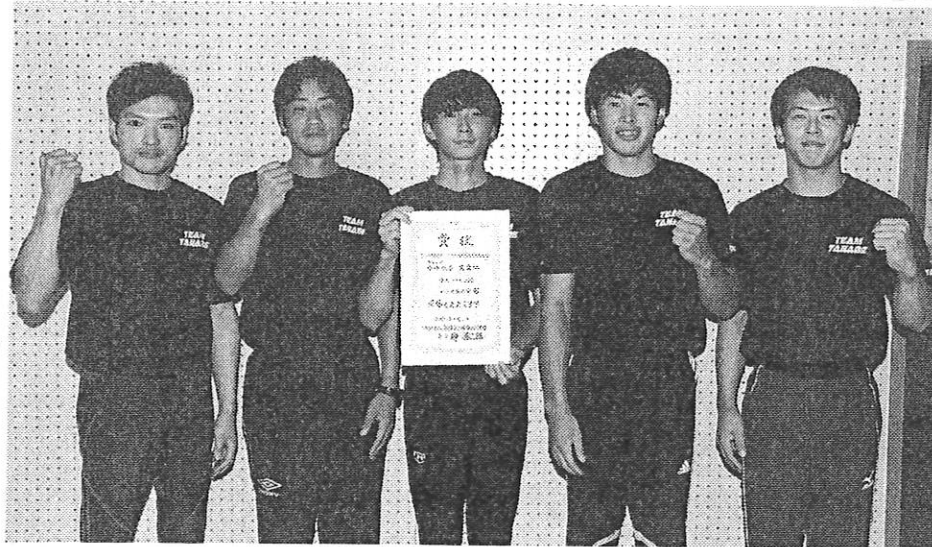


田辺体操教室が準優勝

全国から55チーム マスターズ体操選手権

全日本マスターズ体操競技選手権大会がこのほど、東京都八王子市であり、田辺市の田辺体操教室が男子団体に準優勝した。



全日本マスターズ体操選手権で準優勝した田辺体操教室のメンバー。左から菅村昌宏さん、岩本将広さん、藤本修平さん、柴田快輝さん、新藤大知さん

マスターズは2部の大会で、全日本シニア体操クラブ連盟と日本体操協会の主催。全国から55チームが参加した。1チーム5人編成で、ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目を演技した。団体はチームで上位3

人の合計点数で順位を決めた。

田辺体操教室のチーム名は、監督の川間大志さん(32)が代表を務める田辺市中芳養の同教室から取った。川間さんを含めメンバーは田辺工業高校体操部のOBで、選手は

菅村昌宏さん(34) 白浜町役場、岩本将広さん(32) 田辺市高雄中学校、藤本修平さん(26) 県西牟婁振興局、柴田快輝さん(23) 田辺市役所、新藤大知さん(23) 田辺工業高の5人。いずれも少年時代から全国大会や国体を経験した選手で、仕事が終わってから母校の田辺工業高や明洋中学校で子どもらに体操を指導する傍ら、マスターズ大会に向けて練習した。大会では、団体でつり輪の合計点数が1位になるなど、どの種目も高得点をマーク。合計171・250点で2位だった。優勝の鯖江ピタリクラブ(福井県鯖江市)との点差は1・625点だった。個

人総合では柴田さんが4位に入賞した。

川間監督は「子どもらに体操の指導や普及活動をしなが

ら来年、再来年もマスターズに出場し、優勝を目指して頑張りたい」と話した。